

定 款

社会福祉法人 同仁会

第一章 総 則

(目 的)

第一条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 生活困難者に対して、無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業の経営

(ロ) 老人介護支援センターの経営

(ハ) 老人デイサービス事業の経営

(ニ) 老人短期入所事業の経営

(名 称)

第二条 この法人は、社会福祉法人 同仁会 という。

(経営の原則等)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、経済的に困窮する者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を青森県三沢市大字三沢字淋代平116番地3097号に置く。

第二章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に、評議員七名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事一名、事務局員一名、外部委員三名の合計五名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の二名以上が出席し、かつ、外部委員の一名以上が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七条 評議員の任期は、選任後四年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第八条 評議員に対して、各年度の総額が1,000,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第三章 評議員会

(構成)

第九条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第一〇条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分

- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他、評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開 催)

第一一条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招 集)

第一二条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決 議)

第一三条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の三分の二以上に当たる多数をもって行われなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一五条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第一四条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した評議員及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

第四章 役員及び職員

(役員の数)

第一五条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 六名
 - (2) 監事 二名
- 2 理事のうち一名を理事長とする。
 - 3 理事長以外の理事のうち、一名を業務執行理事とすることができる。

(役員を選任)

第一六条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第一七条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長及び業務執行理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第一八条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第一九条 理事又は監事の任期は、選任後二年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 補欠として選任された理事及び監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 理事又は監事は、第一五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第二〇条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二一条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

(職員)

第二二条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第五章 理事会

(構成)

第二三条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二四条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第二五条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第二六条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができ

るものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二七条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第六章 資産及び会計

(資産の区分)

第二八条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産、公益事業用財産の三種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 1,000,000円

(2) 青森県三沢市大字三沢字淋代平116番地3097号所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建介護老人保健施設やすらぎ苑建物一棟(3,923.55平方メートル)

(3) 青森県三沢市大字三沢字淋代平116番地3097号所在の介護老人保健施設やすらぎ苑敷地一筆(10,000.00平方メートル)

(4) 青森県三沢市大字三沢字淋代平116番地3112号所在の介護老人保健施設やすらぎ苑敷地一筆(1,190.97平方メートル)

(5) 青森県三沢市千代田町四丁目140番地851号所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建特別養護老人ホームうるわしの杜建物一棟(2,709.91平方メートル)、木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建機械室一棟(140.77平方メートル)

(6) 青森県三沢市千代田町四丁目140番地850号所在の特別養護老人ホームうるわしの杜敷地一筆(82.73平方メートル)

(7) 青森県三沢市千代田町四丁目140番地851号所在の特別養護老人ホームうるわしの杜敷地一筆(7,689.57平方メートル)

(8) 青森県三沢市千代田町四丁目140番地426号所在の雑種地一筆(1,458平方メートル)

3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第三六条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きを取らなければならない。

(基本財産の処分)

第二九条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会

の承認を得て、三沢市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、三沢市長の承認は必要としない。

- 一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

（資産の管理）

第三〇条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

（事業計画及び収支予算）

第三一条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第三二条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第三三条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終る。

(会計処理の基準)

第三四条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三五条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

第七章 公益を目的とする事業

(種別)

第三六条 この法人は、社会福祉法第二六条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 訪問看護事業
- (2) 居宅介護支援事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の三分の二以上の同意を得なければならない。

第八章 解散

(解散)

第三七条 この法人は、社会福祉法第四六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第三八条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人から選出されたものに帰属する。

第九章 定款の変更

(定款の変更)

第三九条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、三沢市長の認可（社会福祉法第四十五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を三沢市長に届け出なければならない。

第十章 公告の方法その他

(公告の方法)

第四〇条 この法人の公告は、社会福祉法人同仁会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第四一条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞無く、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

社会福祉法人「同仁会」設立当初役員

理事長	小 鹿 雅 麗
理 事	小 鹿 ふ み
理 事	荒 井 行 夫
理 事	五十嵐 圭 一
理 事	小比類巻 雅祥
理 事	西 舘 與四次
理 事	安 田 昭 夫
理 事	関 川 勇太郎
理 事	古 田 昭
理 事	新 山 勝 春
理 事	鈴 木 セ ツ
監 事	斉 藤 甫 人
監 事	稻 川 三津雄

(改正の経過)

- 1 平成 5年 8月23日から施行する。(定款一部変更)
- 2 平成 7年 2月20日から施行する。(定款一部変更)
- 3 平成10年12月28日から施行する。(定款一部変更)
- 4 平成12年 7月15日から施行する。(定款一部変更)
- 5 平成13年 6月15日から施行する。(定款一部変更)
- 6 平成15年 9月18日から施行する。(定款一部変更)
- 7 平成21年 6月 2日から施行する。(定款一部変更)
- 8 平成25年 4月 1日から施行する。(定款第一条、第十九条、第三十一条及び第三十二条)の改正
- 9 平成26年 5月28日から施行する。(定款第一条、第一八条)の改正
- 10 平成27年 5月27日から施行する。(定款第一八条)の改正
- 11 平成29年 4月 1日から施行する。(定款第三条、第五条～第四一条)の改正

定 款 細 則

社会福祉法人 同仁会

社会福祉法人同仁会 定款細則

(目的)

第1条 この定款細則は、定款第41条の規定に基づき、社会福祉法人同仁会（以下「法人」という）の定款の施行に関し、必要な事項を定めるものである。

(理事長の専決事項)

第2条 定款第24条の規定により、次に掲げる法人の日常の軽易な業務の決定は理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) 職員の任免に関すること（第4条に定める職員を除く）
- (2) 職員の日常の労務管理・福利厚生に関すること
- (3) 債権の免除・効力の変更のうち、当該処分が法人に有利であると認められるもの及びその他やむを得ない特別の理由があると認められるもの
ただし、法人運営に重大な影響があるものを除く
また、当該処分について理事長個人が特別の利害関係を有する場合は、理事会において理事長を除いた他の理事による決議によって決定する
- (4) 設備資金の借入に係る契約であって、予算の範囲内のもの
また、当該契約について理事長個人が特別の利害関係を有する場合は、理事会において理事長を除いた他の理事による決議によって決定する
- (5) 建設工事請負や物品購入等の契約のうち、次のような軽微なもの
 - ア 日常的に消費する給食材料、消耗品等の日々の購入
 - イ 施設整備の保守点検・物品の修理等について、その取得金額等が500万円を超えないもの
また、当該契約について理事長個人が特別の利害関係を有する場合は、理事会において理事長を除いた他の理事による決議によって決定する
 - ウ 緊急を要する物品の購入等について、その取得金額が500万円を超えないもの
また、当該契約について理事長個人が特別の利害関係を有する場合は、理事会において理事長を除いた他の理事による決議によって決定する
- (6) 基本財産以外の固定資産の取得及び改良等のための支出、並びにこれらの処分について、その取得金額等が1000万円を超えないもの
- (7) 損傷その他の理由により不要となった物品、又は修理を加えても使用に耐えないものと認められる物品の売却及び廃棄について
ただし、法人運営に重大な影響がある固定資産を除く
- (8) 予算上の予備費の支出
- (9) 入所者・通所利用者の日常の処遇に関すること
- (10) 入所者の預り金の日常の管理に関すること
- (11) 寄付金の受入れに関する決定

ただし、寄付金の募集に関する事項及び法人運営に重大な影響があるものを除く

(監事)

第3条 監事は、評議員会並びに理事会に出席するものとし、必要があると認めるときは、意見を述べなければならない。

2 定款第18条に定めるほか、監事は毎年定期的に監査報告書を作成し、理事会及び三沢市長に報告するものとする。

(施設長等)

第4条 定款第22条第2項に定める施設長等の範囲は、次に定める者とする。

- (1) 法人本部事務局長
- (2) 介護老人保健施設やすらぎ苑施設長
- (3) 介護老人保健施設やすらぎ苑事務長
- (4) 特別養護老人ホームうるわしの杜施設長
- (5) 特別養護老人ホームうるわしの杜事務長

(評議員選任・解任委員会)

第5条 定款第6条に定める評議員選任・解任委員会の運営に関する詳細は、評議員選任・解任委員会運営規程に定めるところによる。

(評議員会及び理事会)

第6条 定款第9条並びに第23条に定める評議員会及び理事会の運営に関する詳細は、評議員会及び理事会運営規程に定めるところによる。

(改廃)

第7条 この細則の改廃は、理事会の決議をもって行う。

附 則

(施行期日)

この定款細則は、平成10年3月23日から施行する。

平成10年5月26日改訂

平成15年9月18日改訂

平成21年3月1日改訂

平成25年4月1日改訂

平成27年4月1日改訂

平成29年4月1日改訂